

年	組	名前
---	---	----

8月の発地別宿泊者数

	宿泊者数(人)	増減率(%)
福岡県	124,191	2.4
その他九州	90,152	7.3
四国・中国	51,378	15.8
近畿	37,170	▲15.9
中部	16,035	▲15.4
関東	49,810	▲15.4
東北・北海道	2,894	▲43.7
県内	58,877	▲4.7
国内計	430,507	▲1.9
国外計	37,017	86.2
合計	467,524	2.0



※増減率は前年同月速報値との比較。▲はマイナス、県調へ

県が17日に公表した8月の県内宿泊者数などの調査結果(速報値)によると、国内外を合わせた宿泊者数は46万7524人で前年同月(速報値)と比べ2.0%増だった。外国人は大幅に伸びたが、大分に誘客するディスプレイ・キヤンペーン(DC、7~9月)を開催している国内からの宿泊者数は1.9%の微減となった。有料観光施設の入場者数は18.5%の大幅増だった。

宿泊者数については、県(県より少ない約30施設対旅館ホテル生活衛生同業組合)では前年同期比6.4%増だった。官民でつくる

8月の県内

国内宿泊者微減に

観光施設は好調

国内宿泊者は43万507人で前年同月より8195人の減少。出発地別では、DCに合わせてPRを強化した九州、四国・中国地方は増加したが、近畿、中部、関東、東北地方は減少した。同事務局は、今春開通した北陸新幹線沿線の人気が続く、関西より東で観光客が流れたとみる。また、昨年

に比べ盆が週末と重なり、長期の休みがとりづらい日程となり宿泊日数が減ったことも影響したという。

外国人宿泊者数は円安を背景に伸び、特に韓国は120%増の2万1457人、中国も144%増の4044人だった。

有料観光施設入場者数は、県立美術館(大分市)の人気漫画をテーマにした特別展や、日出町や玖珠町の施設を中心に好調だった。県DC実行委員会は、今週末から始まる大型連休では「主な県内宿泊施設はほぼ予約で埋まっていると聞いている」とした上で、「あと2週間のラストスパイトでDC期間を通じては前年を上回る実績は十分見込める」としている。

県DC実行委員会は、宿泊客や日帰り観光客の期間中3カ月の目標を前年同期比15%増に設定している。県の集計は速報値の段階から今後変化する可能性がある。

(2015年9月18日朝刊5面)

大分県は8月の県内宿泊者数などの調査結果を公表しました。

①今年8月の宿泊者数は、前年同月に比べ、何%増減したでしょう。

.....

.....

.....

.....

②国内宿泊の出発地別で、最も減った地方はどこで、何%減でしょう。

.....

.....

.....

.....

③国内宿泊者を増やす方法を考えてみよう。

.....

.....

.....

.....